



2017年11月17日(金)～

2017年12月14日(木)の活動

○ つるが環境フェア

11月23日(木)

敦賀市

北陸環境共生会議は、北陸電力(株)ワンダー・ラボの協力を得て、敦賀市きらめきみなと館で開催された「つるが環境フェア GREEN PICNIC2017」へ出展した。親子約100名が、メロディカードや手回しライトを作り、太陽電池や手回し発電のしくみを、楽しみながら学習した。(担当：吉井)

○ 会員懇談会(富山会場)

11月27日(月)

富山市

平成29年度会員懇談会(富山会場)を富山第一ホテルにて開催し、会員約80名が出席した。今回は当会の創立50周年記念事業の一環として、「経済指標から見る北陸の歩み」をメインテーマに北陸三県の大学の専門家3名にご講演いただいた。久和会長の挨拶の後、金沢学院大学経営情報学部准教授の大野尚弘氏が「域内総生産、一人当たり県民所得等」、福井県立大学経済学部准教授の桑原美香氏が「行政・公共事業等」、金沢大学人間社会研究域教授の寒河江雅彦氏が「観光・交通」について講演した。出席者からは農業観光のアイデア等についての質問があり、最後に高木副会長の公共施設のメンテナンスの優先順位や、観光を含めた北陸三県の連携強化等に関するご示唆で締めくくった。また、講演会後は交流会を実施し、盛會裡に閉会した。なお、会員懇談会に先立ち、シンポジウム『北陸経済の軌跡と今後の展望』～高齢化社会におけるIoT・AIを活用した働き方支援(主催：経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 共催：北陸経済連合会、後援：一般財団法人北陸経済研究所)が開催され、この中でも「経済指標から見る北陸の歩み」に関し、福井県立大学地域経済研究所教授の佐々井司氏が「北陸における人口の軌跡から地方創生を考える」、富山大学経済学部教授の小柳津英知氏が「北陸の製造業の労働生産性の推移と特徴—『工業統計表』を用いた要因分析」について講演を行った。(担当：落合)

○北経連トピックスNo.101(H23.6.2発行分)
より当連合会HPに掲載しております。
バックナンバーのお問い合わせは小山まで。
(Tel076-232-0472)

○ 平成29年度第1回 広域観光推進委員会

11月30日(木)

金沢市

平成29年度第1回広域観光推進委員会を開催し、加藤委員長をはじめ10名の委員が出席した。「平成29年度事業計画の実施状況・評価と平成30年度事業活動計画案」について審議した。各委員からは、「北陸新幹線金沢開業後少し中だるみ感がある」「もっと文化を発信すべき」「もてなしをもう一度考えつつその中で個性を発揮しなければならない」などの意見があった。(担当：吉井)

○ 共同シンポジウム

「北陸地方創生と国際化・イノベーション」

11月30日(木)

金沢市

北陸AJEC、経済産業研究所、ジェットロ・アジア経済研究所、福井県立大学は、一昨年度より共同で実施した「地方創生と国際化」に関する研究成果の社会還元を図るため、共同シンポジウム「北陸地方創生と国際化・イノベーション」を開催した。シンポジウムは、1.基調講演、2.研究報告、3.パネルディスカッションの3つのパートから成り、基調講演では、浜口伸明氏(神戸大学教授)が「グローバル化と人口減少下の日本経済における地域の課題」と題して講演された。研究報告では、4名の研究会メンバーが各々の担当分野についての報告を行った。パネルディスカッションでは、津田駒工業(株)様、日華化学(株)様、YKK(株)様が各社の国際化・イノベーション戦略などについてプレゼンテーションされた。なお、シンポジウム主催4機関は、2017年9月に研究成果を「北陸地方創生と国際化・イノベーション」と題して日本評論社より刊行している。(担当：白又)

○ 平成29年度第1回 社会基盤整備委員会 第3回総合対策委員会女性部会

12月1日(金)

金沢市

ホテル金沢において、「平成29年度第1回社会基盤整備委員会」と「第3回総合対策委員会女性部会」が合同開催され、それぞれ山崎委員長をはじめ14名、浅野部会長をはじめ9名が出席した。山崎委員長挨拶の後、「平成29年度事業計画の実施状況・評価」について審議し、その後、「自動運転技術が変えるトラック・バスの未来」と題し、日野自動車(株)技術研究所榎本英彦所長より、物流を担う大型自動車運転手の人手不足やヒューマンエラーによる重大事故に対する自動車メーカーの取組みについて講演をいただいた。女性部会では、社会基盤整備委員会の活動についての理解を深めたほか、今後の社会基盤整備に関する活動への意見を交わすなど、委員会間での交流を図ることができた。女性部会は、今後も他の委員会との交流を継続する予定。(担当：本多)

○ 平成 29 年度 第 1 回 先端技術推進委員会

1 2 月 5 日 (火)

金沢市

ホテル日航金沢において、「平成 29 年度第 1 回先端技術推進委員会」が開催され、水口委員長をはじめ 14 名の委員が出席した。

水口委員長の挨拶の後、「平成 29 年度事業計画の実施状況・評価」について事務局より報告し、審議が行われた。

審議の中では、経団連との連携協定に基づくマッチングについての成果の捉え方などの質疑があり、期待しているとの意見があった。

また、北陸産業活性化センターの堂谷専務理事から調査報告「北陸における元気増進産業の可能性」の紹介、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 久木田理事・イノベーション推進部長より「イノベーション創出に向けた NEDO の取組み」と題した講演が行われた。

その後の交流会では、委員相互や事務局の間で意見交換の場もたれた。(担当：平田)

○ 平成 29 年度 第 4 回 総合対策委員会

1 2 月 6 日 (水)

金沢市

平成 29 年度 第 4 回 総合対策委員会を開催し、稲垣委員長をはじめ 17 名の委員が出席した。

今回は「平成 29 年度事業計画の実施状況・評価および平成 30 年度事業活動方針案」、「政府要望書取りまとめの一部見直し」について審議を行ったほか、「北陸経済連合会 50 周年事業」、「経団連との連携協定に基づくマッチング実績」について報告した。

特に、来年度の検討事項として提案した「北陸近未来ビジョン」(仮称)については、「北陸の未来のありたい姿、あるべき姿を描くべき」、「学生や若手社員などの若者の柔軟な発想も取り入れるべき」など、幅広く意見が交わされた。(担当：鳥山)

○ 第 336 回 常任理事会

1 2 月 1 1 日 (月)

金沢市

第 336 回常任理事会を金沢ニューグランドホテルにて開催、久和会長をはじめ 24 名が出席した。

会長は、冒頭のあいさつの中で、今年 1 年を振り返り「北陸の経済状況は緩やかに拡大している。」「北陸新幹線については、2030 年頃までの全線整備に向け、関西との連携を強化している。」「北経連は 11 月に創立 50 周年を迎えた。今年度、創立 50 周年記念事業を実施しているが、記念式典は来年度総会と合わせて実施するので、多数の出席をお願いします。」と述べた。

続いて、「平成 29 年度事業計画の実施状況・評価および平成 30 年度事業活動方針案」「政府要望書取りまとめの一部見直し」等について事務局から説明し、出席者間で意見が交わされた。

いただいたご意見を踏まえた平成 30 年度事業活動方針は新春経済懇談会にて発表する。

(担当：小山)

○ 韓国との共創セミナー in 福井

1 2 月 1 2 日 (火)

金沢市

北陸経済連合会、北陸 AJEC は KOTRA (大韓貿易投資振興公社) 名古屋貿易館と連携し、福井市ザ・グランユアーズフクイにて「第 4 回 韓国との共創セミナー in 福井」を開催した。セミナーには 32 名が参加した。

本セミナーでは「韓国若手人材の採用について」を副題とし、日本の人材不足に対する対策として JETRO、KOTRA、(株)ホスピタブル、サンキ工業(株)より韓国経済の現況や韓国人材採用に関する支援制度、注意点、採用実態等について講演、発表を行った。

(担当：平)

お知らせ

○ 農商工連携講演会

「これからの農業を支えるイノベーション
～農商工連携の可能性・方向性を探る～」と題し、講演会を開催する。

スマート農業のトップランナーを担う富士通(株)の若林 毅様と農商工連携分野で先進的な事例を数多く蓄積している石川県立大学から熊谷学長、三沢教授にご登壇いただく。

詳細は当会 HP をご覧ください。

【日時】2018 年 1 月 26 日 (金) 14:00～16:10

【場所】ホテル金沢 2 階 ダイヤモンドの間

入場無料

問合せ先 北経連 木戸・平田 (076)232-0472

○ 中部経済産業局からお知らせ 高度外国人材の活用について

日本政府では、高度な知識・技能を有する優秀な外国人材 (高度外国人材) の更なる受入れ拡大のため、「日本版高度外国人材グリーンカード」を拡充しました。高度外国人材の資質能力をポイント評価し、一定のポイントを上回る人材については永住許可申請に要する在留期間を最短 1 年に優遇する制度です。詳しくは、下記 HP を参照ください。

経済産業省「成長戦略における外国人材の活用について - Open for Professionals -」

<https://www.mirasapo.jp/talent/files/OpenForProfessionals01.pdf>

<https://www.mirasapo.jp/talent/files/OpenForProfessionals02.pdf>

法務省入国管理局「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇措置」

http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_3/pdf/h29_06_leaflet.pdf